

「事業所職員向け」 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2026年3月31日

スタッフ 5 名回答

事業所名： さんぼみち

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標
環境・体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5	0	0	ワンフロアで活用していたが、間仕切りをして目隠しされる部分などをあえて作るように工夫している。 子どもたちが過ごしやすいように空間を区切ったり、物の入れ替えをしている	
	②職員の配置数は適切であるか。	5	0	0	基準は満たしているが、充実した支援にはもう少し人手が欲しい。	スタッフの子どもへの付き方等を日々の申し送りで話し合い、子ども同士の関係作りの邪魔にならないように注意する必要がある。
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	2	1	2	現在の利用児においては問題ない設備である。	
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	0	定期的に振り返りを行い、目標設定と振り返りを行っている。	
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	5	0	0	苦情等も含めて大切な情報として取り扱っている。	
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	0	0		
	⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	1		外部評価での助言内容は、改善するように努めています。
	⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5	0	0	外部研修への任意参加、心理士による発達や療育に関しての知識をみんなで共有している	
適切な支援の提供	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	0		
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	5	0	0		
	⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	0	やる目的、意図をそれぞれで検討するように意識している	
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	0	子どもの状態に合わせて、毎日振り返り立案している。	
	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	5	0	0	長期休暇は家庭でなかなかするには大変なプログラムを設定し、小集団で経験できることを考えている	子どもたちになるべく色々な経験を積んでもらいたいと考えている。
	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	0		
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5	0	0	それぞれの役割を鮮明にすることで責任を持って動けるようにしている	
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	0	気になるメンバー、どう対応していくかなど、非常勤の人でもわかるように申し送りボードを作り、使用するように努めた	
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	0	見立てやこちらの思い、さらには利用者とのような会話をしたか、言葉（セリフ）を意識して残すようにしている	
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	5	0	0		
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0	0		
	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	5	0	0		

関係機関や保護者との連携	①学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	0	送迎表作成時にも二者確認、当日の下校時間チェックも二者確認を行っている。事務員によるチェックもしてもらい、送迎時間忘れがないように努めている	親御様のご協力があって下校時の送迎時間等を確認しながらやっている。学校からのお便りがギリギリにならないと出ないことが多く、月をまたぐ時の調整が難しい。
	②医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	3	0	2		
	③就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	1		
	④学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	0	事業所へ向向き、情報提供を行ったり、関係機関で集まり、情報共有をするよう努めている	サービス担当者会議やケース会議には積極的に参加している。
	⑤児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	0	0		
	⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	2	1	2	敏感な児が多いので、あえてリスクのある交流の機会は設けていませんが、公園などでは自然と交流が生まれる場面もあります。	
	⑦（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	1	4	自由に参加出来る自立支援協議会ではないので、参加できていませんが、参加できるなら参加する意思はあります。	
	⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	0		
	⑨保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	2	0	3	親の会を定期的実施している	対象児童の年齢にもよるが、既に幼児期にペアトレを受けている親御さんも多くいる。
保護者への説明責任等	⑩運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	0		
	⑪保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0	0		
	⑫父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	4	0	1	年に3回実施している。	
	⑬子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	0		
	⑭定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	0	毎月お便りを出している。写真等を利用して実際の子どもたちの活動や表情が親御様に伝わるように工夫している。さくら連絡網なども活用して発信している	
	⑮個人情報について十分注意しているか。	5	0	0		
	⑯障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	視覚化して、やりとりが残り、わかりやすくしている	
	⑰事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	1		不定期であるが、当施設や当法人でのイベントがある際には、近隣の皆様に呼びかけている。
非常時等の対応	⑳緊急対応マニュアル防犯、マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5	0	0	年間で計画して実施している	
	㉑非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	0	月に一度、いろいろな想定での訓練を実施している	
	㉒虐待を防止するため、職員を研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	0		
	㉓どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	0	身体拘束については、親御様に別紙で説明と同意を得ている。	
	㉔食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	1	アレルギーアンケートの実施	
	㉕ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5	0	0		